

今月の話題 「春のモフモフ ～ピロウドツリアブ～」

春になると、咲き始めたいろいろな花の上をある時は素早く飛び去り、またある時は空中に静止する、1cmほどの茶色い毛玉のような虫を見ることができます。よく見ると体長の半分ほどもある、黒い長く伸びた“くちさき”(口吻と言います)を持っているので、他の昆虫とは簡単に区別できます。

この虫はピロウドツリアブと言う名前のアブの仲間です。ピロウドツリアブは漢字で書くと、「天鷲絨吊虻」と書き、体に細かい毛が密集している様子を「天鷲絨(びろうど)」、空中に静止してまるで糸で吊り下げられたように見えるところから「吊虻(つりあぶ)」という和名が付いています。ちょっと見た目はマルハナバチ類に似ていますが、この虫は花の蜜を吸うアブの仲間です。刺したり噛みついたりもしないので、安心して観察することができます。ピロウドツリアブは、3月から4月頃の春先に、年に一回だけ成虫が出現するスプリング・エフェメラル(春のはかないもの)と呼ばれる生き物(植物や昆虫)の一つです。スプリング・エフェメラルの代表的な生き物は、植物ではカタクリやキクザキイチゲ、ニリンソウなどが知られており、昆虫ではピロウドツリアブの他、ギフチョウやウスバアゲハ(ウスバシロチョウ)などがいます。



2/11(火・祝)・3/9(日) ミニ野鳥観察会 (延べ38人)

参加者の声 ・1時間でしたがたくさんの鳥の声や姿が見られて楽しかったです。なかなか名前を覚えられないのですがわかりやすい解説付きで観察することができたので良かったです。ありがとうございました。

・野鳥観察会は初めて参加させて頂きましたが、多数の鳥を見ることができ、とても楽しい時間でした。皆さま親切に優しくお話して下さいました。また参加したいと思います。



ピロウドツリアブ

咲き始めた花に、コロコロモフモフしたこの虫が現れると、一気に春の訪れを感じます。

春になると、成虫を見ることはできるのですが、たくさんの研究者やアマチュアが観察しているのにもかかわらず、その前後の生活史はほとんど知られていません。生態で分かっていることは、土中に巣を作り、花粉と花の蜜を集めて子育てをするヒメハナバチ類に寄生しているということです。

その際、集めた花粉や蜜だけを盗んでいるのか、あるいはハナバチの幼虫まで捕食しているのか？また、どうやって、土の中のヒメハナバチの巣に侵入するのか？どこで蛹になり、どこで越冬しているのか？など分かっていないことは、とにかくたくさんあります。身近にいるのに謎だらけの生き物が、葛葉緑地にはたくさん生息しています。皆さんも是非研究してみてください。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋



3/16(日) おたまじゃくしの観察会 (20人)

参加者の声 ・「おたまじゃくしは黒色」という思い込みがなくなりました。あんなにきれいな金色と黒の斑点を見せてもらって驚きでした。子どもが笑顔で参加できる工夫がちりばめられていてありがたかったです。・チョコがおたまじゃくしに人気があったのと、生まれたばかりのおたまじゃくしに、えらがあったのがびっくりしました。



くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴・夜の行事：小学生以下は保護者同伴

日 時	テ マ ・ 場 所 ・ 講 師	対象・定員	受付開始
4月13日(日) 10:00～11:30	「ちびっこあつまれ！ 春の自然をさがそう」 くずはの家指導員・ボランティアの会	3～6歳の幼児と 保護者20名	4月1日 (残りわずか)
4月26日(土) 9:30～11:30	「春の野鳥観察～夏鳥来てるかな？～」 えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 30名	4月1日
4月29日(火・祝) 9:30～15:00	「くずはの家 春のつどい」 グリーンオリエンテアリング/もりりんと森の音楽隊/ はだの名水喫茶/空飛ぶもりりん竹とんぼ作り/ きらめくとりはなブローチ作り(秦野ガス)	どなたでも (工作は 先着200名)	当日受付 14:00 まで
5月3日(土) 9:30～11:30	「くずはカップ争奪 ミニモルック大会」 えのきの会自然遊び分科会・くずはの広場指導員	どなたでも 8 組	4月15日
5月3日(土) ～6日(火・祝) 9:30～16:30	「ゴールデンウィーク ウォークラリー」 場所：くずはの広場 「自然素材のおもちゃコーナー」 場所：くずはの家研修室	どなたでも	当日受付 (ウォークラリーの 受付は16時まで)
5月22日(木) 23日(金) 18:30～20:30	「ほたるの観察会」 くずはの広場所長	小学生以上 各日30名	5月1日
5月24日(土) 9:30～11:30	「知ろう 探そう 川の中の小さな小さな水生昆虫」 えのきの会水辺分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 20名	5月1日



3/22(土)～30(日) 春休み企画展「いろいろな 動物標本展」(延べ430人)

参加者の声 ・ふわふわのぬいぐるみが触ってみて気持ち良かった。たくさんの工程でできていることがわかった。作り手の熱意が伝わってきました。・一頭の個体から、ぬいぐるみと骨標本と二つの標本をつくってすごいですね。子どもと楽しく写真とれました。

行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

4月の休館日

7日、14日、21日、28日、30日

5月の休館日

7日～9日、12日、

13日、19日、26日

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります！

ホームページ



メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家の ボランティア活動

3月の活動

定例会：1回目は、大量のクスノキの剪定枝を落ち葉捨て場に運びました。別日に臨時作業も設けるほどの大変な重労働になりましたが、皆さんが頑張ってくださり、きれいな広場になりました。2回目は、竹の名札のペンキ塗り、どんぐり山の剪定枝や草刈り後の片付けなどを行いました。最後に、長年勤めた味塾指導員の退職お疲れ様会もおこないました。また別の日に、臨時的に野鳥の土手の整備も行い、絡みついたつる草などを除去しました。

花壇の会：花壇の中を片付け、腐葉土を撒きました。とんぼのせせらぎ：緑地内の杉材を運んで、せせらぎに架かる橋の修理を行いました。

☆これからの活動

定例会：4/17(木)、5/4(日)、5/15(木)

花壇の会：5/2(金)

とんぼのせせらぎ：4/24(木)

くずはの広場観察路マップ

2025年3月31日調べ

①～⑪には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



3月の野鳥

(2月27日～3月31日調べ)

- 1、カルガモ
- 2、キジバト
- 3、カワウ
- 4、アオサギ
- 5、ダイサギ
- 6、トビ
- 7、ノスリ
- 8、カワセミ
- 9、コゲラ
- 10、アカゲラ
- 11、アオゲラ
- 12、モズ
- 13、ハシボソガラス
- 14、ハシブトガラス
- 15、ヤマガラ
- 16、シジュウカラ
- 17、ヒヨドリ
- 18、ウグイス
- 19、エナガ
- 20、メジロ
- 21、シロハラ
- 22、ツグミ
- 23、ジョウビタキ
- 24、キセキレイ
- 25、ハクセキレイ
- 26、セグロセキレイ
- 27、カワラヒワ
- 28、シメ
- 29、イカル
- 30、アオジ
- 31、コジュケイ
- 32、ガビチョウ
- 33、ソウシチョウ



フサザクラ

3月の昆虫

チョウ・ガの仲間

キタテハ
ウラギンシジミ
ベニシジミ
ムラサキシジミ
テングチョウ
キタキチョウ

カメムシの仲間

クサギカメムシ
キマダラカメムシ
ツマグロオオヨコバイ
アメンボの仲間

トンボの仲間

オニヤンマ (幼虫)

カブトムシの仲間

クロウリハムシ
キマダラミヤマカミキリ
ナミテントウ

その他の仲間

ムネアカハラビロカマキリ (卵しょう)
ビロウドツリアブ
ムラサキトビムシの仲間



アズマヒキガエル

くずはの広場トピックス

アズマヒキガエル産卵…3月12日

11日の雨の夜、のっそのっそとアズマヒキガエルがでんじそう池を目指して歩いているところに遭遇しました。翌朝ひも状の卵塊が池の中に、よろーり。でも蛙合戦の本番は12日の夜で、昼間からすでにゴッゴゴッ…と鳴いていたカエルたち。夕方から20匹以上が集まって、雌の奪い合いで大騒ぎでした。

カメラ付き巣箱の住人決定

くずはの家前のエノキに掛けたカメラ付き巣箱。今年はシジュウカラがこの巣箱をゲットし、8年連続シジュウカラの営巣になりました。3月18日からすごい勢いで苔を運び入れ始めました。設置したモニターで中の様子が見られます。見に来てね！